

研究班番号【 80 】
少年漫画と青年漫画って何が違うの？

国語班：徳留 慶武、堀内 彰

Abstract

The purpose of this study is to reveal the difference of “shounen manga” and “seinen manga”. There are some types of difference for depiction of death and ease of language transfer for character skills.

要約

本研究の目的は少年漫画と青年漫画との違いがなにかを明らかにすることである。その結果、それらには死の描写やキャラクターの技の理解のしやすさなどの種類の違いがあった。

はじめに

少年漫画と青年漫画にはどのような違いがあるのかよく知らない人が多い。私たちもよく知らなかった。2つのジャンルの漫画の主な違いをまとめた。

研究方法

少年漫画と青年漫画の違いを比較するために少年漫画では集英社出版の{ワンピース}、青年漫画では同じく集英社出版の{ジョジョの奇妙な冒険第7部}を選び、それらの違いを調べた。具体的には、漫画を読み進めるうちに気付いたことなどをグループで共有し、要約で挙げたことに着目して、相違点などを調べた。

結果

2つの漫画を比較することで大きく2つの相違点を見出すことができた。1つ目は死の描写だ。少年漫画のワンピースでは登場するキャラクターの死が直接的に描かれずグロテスクな描写が殆どなかった。また青年漫画のジョジョの奇妙な冒険では、死が直接的に描かれ、血が飛び散ったりするグロテスクな描写が多い。2つ目はキャラの能力の理解のしやすさだ。ワンピースの主人公ルフィはゴムゴムの実というものを食べて、体を自由自在にゴムのように操る能力を得た。例えばジョジョの奇妙な冒険のワレんたいん大統領の能力{D4C}はなにかの間に挟まることで別次元に移動したりできる能力を持っている。ゴムゴムの実という名前を聞くと体がゴムになったりする能力があるのではないかと予想できる人が多かった一方で、D4Cという名前を聞いてもどんな能力か予想ができる人がいなかったことから、能力の名前を言われたときに{D4C}はどんな能力か予想がつかないことから理解のしやすさに違いがある。このように、ワンピースでは能力がわかりやすく、ジョジョでは、能力がどんなものなのかが一度聞いただけでは、あまりわからなかった。

考察

少年漫画は小学生や中学生などを対象にしているので、直接的に死につながるような表現は少なく、グロテスクな描写も少ないと考えられる。青年漫画はその逆で、大人を対象としているので、死やグロテスクな描写に対する抵抗がなく、物語の展開の鍵として登場人物の死が使われることがある。また、仮説

の段階では主人公の性格も少年漫画と青年漫画との違いであると考えていたが、実験を通してあまり関係がないという判断に至った。

まとめ

少年漫画と青年漫画にはやはり大きな違いがあることがわかった。少年漫画は対象年齢が低いため、描写を過激なものにせず、設定もわかりやすく作られていることがわかった。それに比べて、青年漫画は、対象年齢が高いため、描写をリアルにかき、設定も難解なものにされていると考えた。今回の研究では2つの要素でしか比較できなかったため他の要素についても考えていきたい。研究対象となりうる漫画の種類が少ないので、今後は集英社以外にも講談社などが出版しているいろいろな漫画について、少年漫画と青年漫画に分けてどんな違いがあるかを調べたい。また今回の実験を通して先行研究の有無が研究のやりやすさを左右しているとわかった。先行研究が存在しないとはじめから研究を考える必要があつてとても研究をするのが難しかった。だからこそ、次に研究するときには、先行研究があるものを選んで方が良いと思った。

参考文献

<https://www.shueisha.co.jp/> 集英社

<https://jojo-portal.com/> ジョジョの奇妙な冒険

<https://one-piece.com> ワンピース